



# 北東中だより

甲府市立北東中学校  
令和4年11月25日  
文責 竜澤 規之  
NO. 9 (11月号)

## 体育館に合唱祭の歌声響く♪

去る11月9日(水)に合唱祭が開催されました。昨年度は、コロナ感染症の影響で中止。一昨年度は教室で配信映像を観るといった合唱祭となり、会場での臨場感漂う合唱がお届けできませんでした。今年は感染対策を施す中、何とか開催することができ、全校生徒が一堂に会して開催できたこと、また、保護者の皆様にも生徒たちの生の歌声をお届けすることができたことが何よりの収穫となった合唱祭でした。

1-1	地球星歌～笑顔のために～
1-2	My Own Road～僕がつくる明日～
1-3	大切なもの
2-1	島人ぬ宝
2-2	あさがお
2-3	ふるさと
3-1	手紙～拝啓十五の君へ～
3-2	あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～
3-3	民衆の歌が聞こえるか



### 【R4年度LPガス安全啓発ポスター】

- 県知事賞 砂田 琳太郎
- 協会長賞 齊藤 香乃
- 佳作賞 後藤 凜
- 〃 丸山 彩
- 〃 平塚 桜
- 〃 遠藤 叶



### 【R4年度交通安全啓発ポスター】

- 県知事賞 齊藤 奏介



この他にも、大勢の皆さんが数々のコンクールで入賞しました。賞状伝達式で披露します。おめでとうございます。

## 秋の学校林活動(1年生)

10/26(水)に秋の学校林活動を行いました。講師の方により直径30cmもありそうな赤松の伐採を観察し、倒れたときの大きな音に、驚きの歓声を上げていました。

その後、楓と桜の植樹を行った秋の学校林活動でした。



## 2年生 校外学習(職業講話及びマナー講座)

11/17(木)に、「職場見学及びマナー講座」をベルクラシック甲府で実施しました。職場見学、職業講話、テーブルマナーが企画され、テーブルマナーでは、ナイフとフォークの正しい使い方を学ぶなどマナー体験もすることができた貴重な体験学習となりました。



## 進路相談始まる(3年生)

11/15(火)～18(金)の4日間、3年生の進路相談が行われました。具体的に中学卒業後の進路、とりわけ受験する高校について確認する大切な話し合いでした。進路や受験(受検)校が明確に決まっている人、今の時点ではどうしたらよいか決めかねている人もいたと思います。保護者の皆様にとっても不安を持ちながらの参加だったのではないのでしょうか。親子でじっくりと話し合い、納得のいく進路選択をしてください。次回は12月後半の3者懇談ですが、担任に相談がある場合は、遠慮せずに電話や来校しての個別相談を希望してください。

## 来年度、ポロシャツ(希望制)の導入が決定しました！

今年の夏の暑さは尋常ではありませんでした。熱中症の危険もあり、体育の授業や部活動の活動制限をせざるを得ない状況の中、何とかこの夏を乗り切ったとの思いでした。

2学期が始まった8月の末に第2回PTA学校委員会が開かれ、議事後、PTA役員の方から「ポロシャツ導入」について提案があり、検討した結果、来年4月からの導入(希望制)を決定しました。

県内の中学校では、ジェンダーレスの観点から詰め襟・セーラー服以外にもブレザーを選択できる学校も出てくるなど、時代の流れとともに中学校の服装も変化しつつある状況です。

本校においても、今後、「生活の決まり」の再点検を行うなど、これまでの学校生活について検証・検討を重ねていきたいと思えます。



## ある友情

Mさんからの話です。

夏のある日、差出人不明の小包が届き、あけると桃太郎の絵本と封筒が入っていました。封筒にはHという名前、それは12年前に亡くなった友だちの名前だったのです。

その手紙にはこう書いてありました。

『友よ、この手紙を君が読むのは5年後か、8年後か。僕はもうこの冬が越せない。君だけが最後まで僕の肺病を恐れずに多忙な日々を毎日見舞ってくれた。僕は自分の死後のことを考えた。そうしたら楽しいことを思いついた。僕から君の子どもへ1冊の本を送るという計画だ。貧しい君は痩せた体にむち打ってしぶとく生きて結婚し、子どもの父親になるだろう。僕はもう死ぬが君の未来に関わることで僕の心が君の心につながる。君の子にもつながる。そのつながりを確かなものにするために、僕は君の子に1冊の本を贈ろうと計画した。僕は両親に君の子どもが3歳になったら本を贈ってくれと頼んだ。7年も8年もあとのある日、君の家に突然桃太郎の絵本が届く。僕は死んでいながら、その時、君の一家と関わり合うことになる。実に不思議だ。もう書けそうにない。君の子どもが桃太郎のように健康でありますように。』

読み終わってMさんの眼から涙があふれて止まらなかったそうです。Mさんの話では、Hさんのご両親は3年前に亡くなられたといいます。それなら誰が贈ってくれたのでしょうか。

夜空の星は何百光年の時を越えて届いた光だというのが、12年の歳月を超えて届いた絵本もMさんには輝く星に見えたそうです。

出典「さわやか1分話」(学陽書房：1993初版)

## 12月の予定



7日	水	生徒会役員選挙立会演説会投票
9日	金	到達度テスト
14日	水	代議員会(生徒総会)
15日	木	新紺屋小6年生学校訪問
16日	金	三層楼磨こう
20日	火	三者懇談
21日	水	三者懇談
22日	木	三者懇談
23日	金	三者懇談
26日	月	2学期終業式

## 年の瀬とは？

年末のあいさつでよく「年の瀬」という言葉を耳にしますが、この言葉は江戸庶民の生活から出てきた話のようです。「年の瀬」の「瀬」は川の瀬のことで川が浅くなり流れが急に速くなることを言います。

江戸庶民の生活は「ツケ」がほとんどだったようで、その「ツケ」を年末に精算しなければならないのですが、精算してしまうとお金がなくなり正月を迎えられなくなる。支払いたいけど支払えないという困難さを、舟が進むのに困難な川の瀬にたとえて「年の瀬」と言ったそうです。